

事業計画書

令和 年 月 日

AOIプロジェクト技術シーズ活用型事業化促進事業に関する事業計画書を提出します。

なお、応募資格をすべて満たしていることを誓約するとともに、本記載内容について偽りが無いこと、履行が可能であることを証します。

静岡県知事 氏 名 様

所在地
名称
代表者職名
氏名

(業務責任者)

所属・職名
氏名
電話番号
E-mail

- ※ フォントはMS明朝、10.5ポイント、行間は1行で記載してください。
- ※ アプリケーションソフトは、原則MS-Wordを使用し、適宜、MS-Excel、MS-Power Pointを使用して作成してください。
- ※ 規格はA4とします。

責任者 職・氏名：

作成者 職・氏名：

1 概要

(1) 事業計画の名称

--

(2) 事業計画の概要（文字数 150 字程度）

（事業化の内容や技術シーズの活用方法等について簡潔に記載してください。）

--

(3) 年度別補助対象経費

（単位：円）

費用	令和4年度	計
補助対象経費		
補助金所要額		

※ 補助事業期間に応じて記載してください。

※ 補助金所要額は、補助対象経費の3分の2以内とし、480万円を上限としてください。

(4) 事業の背景と目的

（現場の課題やニーズ、市場動向等、社会的・技術的背景を踏まえて簡潔に記載してください。）

--

2 目指す事業化の内容と経済的効果

(1) 事業化の内容

事業化案件名 ^{※1}	事業化の内容	事業化 目標年度 ^{※2}
		年度
		年度
		年度

※1 目指す事業化の内容を件名として表現してください。

※2 事業化目標年度は、事業開始から3年以内（令和6年度まで）としてください。

(2) 事業化により期待される経済的効果（積算値）^{※1}

区 分	令和 年度 (事業化2年後)	令和 年度 (事業化5年後)	令和 年度 (事業化10年後)
農業及び関連産業生産額等の増加額 (A)	万円	万円	万円
上記のうち、 静岡県内における増加額 (B)	万円	万円	万円
静岡県内の経済的効果の割合 (B/A) ^{※2}	%	%	%

※1 事業化した2年後、5年後、10年後に期待される経済的効果（生産額等の増加額）を記載してください。

※2 小数点第1位を四捨五入して記載してください。

(3) 経済的効果の算出根拠

「(2) 事業化により期待される経済的効果」について、「農業及び関連産業生産額等の増加額 (A)」及び「上記のうち、静岡県内における増加額 (B)」のそれぞれの積算根拠を記載してください。

3 事業展開について

(1) 事業展開を想定している市場の概要と販売方法

(2) 事業化内容の新規性や優位性

(事業化の内容が、他の類似商品やサービスと比較して、新規性や優位性がどの程度あるのかを簡潔に記載してください。)

(3) これまでの取組状況

(開発の基盤となる技術やこれまでの開発状況を記載してください。)

(4) 技術的課題及びその解決方法

(事業化のために解決すべき技術的な課題がある場合は、その概要と課題に対する解決方法を記載してください。)

(5) 生産性向上の寄与度

(期待される農産物等の生産性向上の効果について、できる限り定量的(数値化して)に記載してください。)

※ 本事業における生産性向上とは、品質の向上、機能性の向上、収量の向上、生産コストの低減を目的としたものに限ります。

4 事業化に向けた役割分担

(1) 申請者の概要

名 称		
所在地		
代表者職・氏名		
所在地が静岡県 以外の者で、県内 に事務所又は事 業所がある場合	名称	
	所在地	
計画の実現を可能とする 実績又は能力を記載		

(2) 技術シーズの活用

(学術・研究機関から提供を受ける技術シーズの内容、活用方法について具体的に記載してください。)

技術シーズの提供を受ける 学術・研究機関名	
技術シーズの内容	
事業化に向けた 技術シーズの活用方法 及び学術・研究機関 との役割分担	

(3) その他の協力企業等

(事業化のために協力する企業等が居る場合は、その名称と担当する役割を記載してください。)

協力企業等の名称			
役割分担			

5 適切な事業化工程

(1) 全体スケジュール

区 分 ^{※1}	事業内容 (補助対象期間)	事業内容 (補助事業終了から事業化まで)		事業化 目標年度 ^{※2}
	令和4年度 (1年目)	令和5年度 (2年目)	令和6年度 (3年目)	
1				年度
(1)				
(2)				
(3)				
(4)				
2				年度
(1)				
(2)				
(3)				
(4)				
3				年度
(1)				
(2)				
(3)				
(4)				

※1 区分欄は、整数部分に事業化案件名、()数字部分に事業化までに必要な工程を具体的に記載してください。

※2 事業化目標年度は、事業開始から3年以内としてください。

(2) 工程の内訳 (事業化案件ごとに作成してください。) ※1

事業化案件名	
--------	--

年度別事業内容

令和 4 年 度	実施内容	
	到達目標	
	達成度の 判断基準※2	
	補助対象経費	円
令和 5 年 度	実施内容	
令和 6 年 度	実施内容	

※1 「(1) 全体スケジュール」の事業化案件名及び工程内容と一致するように記載してください。

※2 到達目標に対する達成度をどのような基準で判断するかを記載してください。

6 費用対効果

(1) 経済効果とコストバランス

補助対象経費合計 ^{※1} (C)	万円
補助金所要額合計 ^{※1} (C')	万円

区 分		令和 年度 (事業化2年後)	令和 年度 (事業化5年後)	令和 年度 (事業化10年後)
農業及び関連産業 生産額等の増加額 ^{※2} (A)	金額	万円	万円	万円
	A/C			
	A/C'			
静岡県内における増加額 ^{※2} (B)	金額	万円	万円	万円
	B/C			
	B/C'			

※1 「1の(3)」の計と整合させてください。

※2 「2(2)」の値と整合させてください。(小数点第3位を四捨五入して記載してください。)

(2) コスト抑制の工夫

(補助対象経費や補助金所要額を積算する上で、コスト抑制の工夫を行った内容があれば記載してください。)

7 収支予算書

(1) 総括表

収入	
科目	金額
県補助金	円
自己資金	円
借入金	円
その他	円
計	円

支出	
科目	金額
原材料費	円
機械装置購入等経費	円
産業財産権関連費	円
外注費	円
構築物購入等経費	円
技術コンサルタント料	円
委託費	円
その他	円
計	円

(2) 科目別支出内訳

ア 原材料費

項目	仕様	数量	単価 (円)	金額 (円)	備考
計					

イ 機械装置購入等経費

項目	仕様	数量	単価 (円)	金額 (円)	備考
計					

ウ 産業財産権関連費

項目	内容	金額 (円)	備考
計			

エ 外注費

項目	内容	金額 (円)	備考
計			

オ 構築物購入等経費

項目	仕様	数量	単価 (円)	金額 (円)	備考
計					

カ 技術コンサルタント料

項目	内容	金額 (円)	備考
計			

キ 委託費

項目	内容	金額 (円)	備考
計			

ク その他

項目	仕様	数量	単価 (円)	金額 (円)	備考
計					

8 資金状況調べ

区分 月別	収 入				支 出				差引 残高
				計				計	
	円	円	円	円	円	円	円	円	円
月									
月									
月									
月									
月									
月									
月									
月									
月									
月									
月									
月									
計									

(注) 未経過の月分については、見込額を計上してください。